

2022年度年末手当を考える①

黒字化は社員の努力の結果だ!

これ以上の**削減**は
許されない!!



【第一四半期決算の状況(単体)】

	営業収益	四半期純利益	年末手当
2019年度	5,255億円	912億円	3.18ヶ月
2020年度	2,313億円	▲1,060億円	2.2ヶ月
2021年度	3,089億円	▲507億円	2.0ヶ月
2022年度	4,132億円	281億円	

この2年半、コロナ禍により、会社発足以来、初めて赤字決算となる中で、一時金が削減され、昨年は定期昇給も半減されてきました。

コロナ感染の中でも、JR・グループ会社の社員は、指定公共交通機関としての使命を懸命に果たしてきました。また、赤字解消にむけて、経費の削減にも協力・努力してきました。

物価高騰により、社員の生活は苦しくなるばかりであり、会社は、黒字化に努力した社員の労苦に報いるべきです。

2年半の苦労・努力 これ以上**我慢**は出来ない!
社員・家族の声に応え、

3.0ヶ月+5万円を支払え!